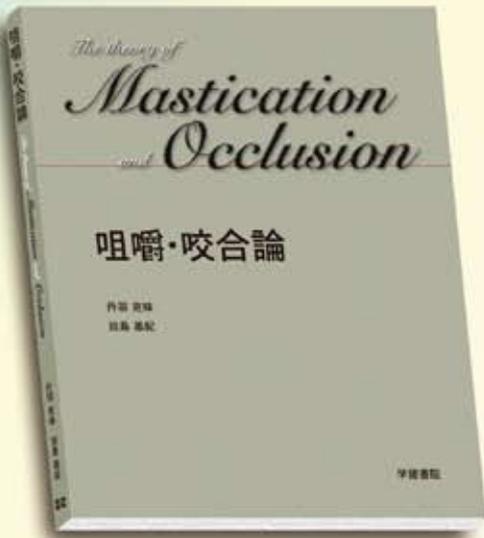


# 咀嚼・咬合論



著 明海大学歯学部非常勤講師 丹羽克味  
 宮崎市開業 田島基紀

AB判 2色刷 223頁  
 定価8,400円(本体8,000円+税)  
 ISBN978-4-7624-0667-6

## 単純・明解咬合論

- ◆「正しい咬合とは、臨床で真に必要な顎位とはなにか」、あらゆる症例に適用できる咀嚼運動理論(咬合理論)がはたして存在するのか長年悩んできた著者が、ようやく1つの結論に到達。
- ◆歯ぎしりや顎関節症の治療に関する咬合も、インプラントや小さなインレーの咬合も、まったく同じ理論で治療が可能です。
- ◆正しい咬合理論を臨床に適用してこそ、患者さんが満足できる治療につながります。

### Contents

#### Prologue すべての症例に適用できる理論の確立を

<b>基礎編</b> 咬合の確立と構成	Part3 咬合面の害	Part7 隣接歯の関係
Part1 咬合面は変化する	Part4 咬耗の功害	Part8 顎関節の機能
Part2 咬合面は、なぜ存在するの	Part5 咬合性外傷の存在とは	Part9 中心位と中心咬合位
	Part6 咬合平面の形	Part10 中心位への誘導
<b>理論編</b> 新しい咀嚼運動理論	Part12 リンガライズドオクルージョン	Part15 かみ合わせの確立と安定
Part11 顎の動きは咬合面	Part13 理想的なかみ合わせ	Part16 咀嚼とは
で決まる	Part14 正常なかみ合わせの要件	Part17 新しい咀嚼運動論
<b>実践編</b> 新理論からみた臨床	Part19 かみ合わせの診断と治療	Part21 咬合器の役割
Part18 歯科治療のもたらすもの	Part20 かみ合わせの調整	Part22 ブラキシズムの治療
		Part23 顎関節症の治療
<b>Epilogue</b> 真の理論とは、すべての症例に適用できる理論		

